

絶滅危惧種二ホンウナギ等の生息環境の保全と子ども達に地域の川のすばらしさを伝える活動

生物が棲みにくくなりつつある庵原川を、生き物がたくさん棲息する川へ再生するプロジェクト



静岡県静岡土木事務所

所在地：静岡市駿河区
ホームページアドレス
<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-850/index.html>
河川管理

行政

いはらの川再生PJ会

所在地：静岡市清水区
ホームページアドレス
<https://www.facebook.com/iharariver.rpj>
モニタリング調査・環境学習

NPO

(株)フタバコーケン

所在地：静岡市清水区
ホームページアドレス
<http://www.futabakoken.co.jp/>
技術支援や広報

企業

東海大学海洋学部水棲環境研究会

所在地：静岡市清水区
ホームページアドレス
<http://twitter.com/suiseiken2013>
生態調査

大学

産（企業）は技術支援、官（行政）は河川管理、学（大学）は生態調査、民（NPO）はモニタリング調査や環境学習を担っています。

ウナギが食べられなくなる!?

「ウナギが食べられなくなる!？」そんな話を聞いた事ありませんか？ウナギの数は急激に減少しています。原因は乱獲もありますが生息環境の悪化もその一つ。コンクリート護岸等により棲処と餌が減少し生息環境が悪化しています。2013年、土木資材会社の(株)フタバコーケン、鹿島建設(株)、粕谷製網(株)、九州大学と協働で、多自然川づくりに配慮した根固め工[※]として「石倉カゴ」を開発し、鹿児島で実証実験を始めました。「石倉カゴ」は、樹脂製ネットに石を詰め、伝統漁法「石倉」と、伝統土木工法「蛇カゴ」の長所を組み合わせた物です。これを使うことにより、ウナギを含む水生生物の棲処ができ、多自然川づくりが可能になります。

多自然川づくり

2016年、静岡土木事務所は、庵原川での河川維持修繕工事に、多自然工法を取り入れる方法を模索していました。2017年2月に開催された「しずおか川自慢大賞」でフタバコーケンの伏見さんから石倉カゴの発表があり、静岡土木事務所として庵原川に石倉カゴを設置しようと動き出します。偶然にも庵原川は伏見さんの地元でもありました。

両者は、石倉カゴを設置するだけでなく、継続的な生物モニタリング調査および多自然川づくりを行う事が重要と考えていました。そのためには、地元の人や子ども達が活動に参加し、長期的に携わる事が大切と考えていました。

Point

地元の働き世代のお父さん達の協力を得られたことが、この事業の最大のポイントです。また2019年、いはらの川再生PJ会は、静岡県及び静岡市と3者でリバーフレンドシップ同意書を締結。これにより担当者の異動があってもモニタリング調査を含む活動が継続されることが期待できるようになりました。

働き世代のお父さん達と子ども達が集結!

そこで伏見さんは、所属していた消防団のお父さん達に声をかけ、庵原地区連合自治会や庵原小中学校協力のもとボランティア団体「いはらの川再生PJ会」を発足しました。地元の人達は子どもこのころ庵原川で川遊びをしていて、庵原川の自然を守りたい・知ってもらいたいという思い入れがあり、子どもを連れて快く活動に参加してくれました。地域の子も達と働き世代のお父さん達が参加することで、未来の地域づくりにもつながります。

様々な主体との協働

さらに静岡土木事務所は、自然再生活動に関わっていた東海大学海洋学部水棲環境研究会に声をかけます。そこに庵原川流域出身の学生・鈴木さんがいて、「庵原の子ども達に庵原川の良さを伝えたい」「自分が役に立つのなら」と活動に参加。鈴木さんは石倉カゴとウナギの事を卒業研究に選び、調査研究を行いました。

他にも、常葉大学、静岡市環境創造課、静岡県水産資源課や多くの市民がモニタリング調査などの活動に協力し、協働の輪が広がっています。さらには庵原中学校の総合学習も毎年、いはらの川再生PJ会が行っています。

ウナギ220個体確認!

現在7地点に石倉カゴが設置され、2017年～2020年の間に14回調査を行い、約470名が参加しました。そして二ホンウナギ220個体、その他の水生生物3500個体を確認することができ、水生生物の生息環境が復元されていることが証明されました。

これからの展望

興津川でも石倉カゴ設置することが決定したり、埼玉県をはじめ他県での取組も進んだりして、地域の人たちとの協働による環境保全が日本中に広がっています。さらに、石倉カゴの取組が英語や仏語に翻訳され、世界に向けて発信されています。庵原川の取組がモデルとなってウナギを救うプロジェクトが広がっています。

※根固め工：洪水時に河床（かしょう：川底のこと）の洗掘（せんくつ：川を流れる水により川底や堤防が削られること）を防止するために設けられる施設です。